

# 令和5年度 第1回 鶴岡市医療と介護の連携研修会アンケート結果まとめ

日時: R5.11.29(水) 6:30pm~

会場: 出羽庄内国際村

## 1. 出席状況とアンケート回収率

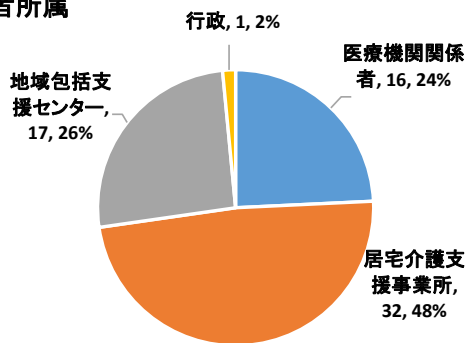
出席者数 69名

		申込者数	出席者数	回答数	回収率
医療機関関係業務従事者	看護師・保健師	9	8	8	100.0%
	医療ソーシャルワーカー	6	6	6	100.0%
	事務・その他	2	2	2	100.0%
<b>小計</b>		<b>17</b>	<b>16</b>	<b>16</b>	<b>100.0%</b>
福祉関係業務従事者	介護支援専門員	45	44	42	95.5%
	看護師・保健師	3	3	3	100.0%
	社会福祉士	3	3	3	100.0%
	生活支援コーディネーター	1	1	1	100.0%
<b>小計</b>		<b>52</b>	<b>51</b>	<b>49</b>	<b>96.1%</b>
行政	行政	2	2	1	50.0%
<b>総計</b>		<b>71</b>	<b>69</b>	<b>66</b>	<b>95.7%</b>

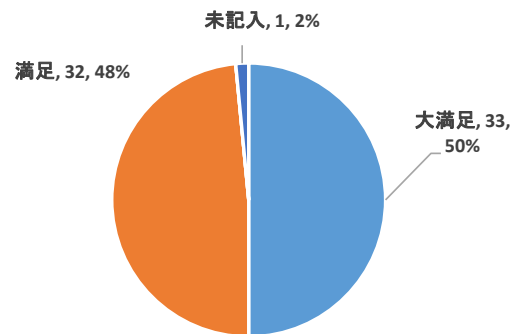
## 2. 所属ごとの満足度

所属		大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	未記入	総計	割合
医療機関関係者	人数	10	6	0	0	0	16	24.2%
	割合	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
居宅介護支援事業所	人数	15	17	0	0	0	32	48.5%
	割合	46.9%	53.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
地域包括支援センター	人数	7	9	0	0	1	17	25.8%
	割合	41.2%	52.9%	0.0%	0.0%	5.9%	100.0%	
行政	人数	1	0	0	0	0	1	1.5%
	割合	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
合計	人数	33	32	0	0	1	66	100.0%
	割合	50.0%	48.5%	0.0%	0.0%	1.5%	100.0%	

参加者所属



参加者満足度



## 1-1. 研修会の満足度ごとの理由

### 【大変満足】

他事業所のCM、包括支援センター、病院MSW、相談員、Ns等、各々の意見が聞けて良かった。参考にできることがあったためこれからの対応の仕方、プラン等に役立てたと思う。
普段自分が思っていることやグループで一人一人思っていることを聞くことができました。医療側の意見はとても参考になりました。
入退院支援について、病棟看護師の意見も聞けて何が必要か確認できました。
他施設の方々のお話をうかがうことができ意見交換できたため。
顔のみえる研修会ができてよかった。
今後の医師と介護の連携—在宅にどのように退院につなげていけるか退院調整から家族とケアマネで聞取りできると調整がスムーズにいくのではと意見がでて参考になった。
顔を合せて話げできたことが一番よかった。介護、医療、各々から積極的に意見交換できた。
GWのためより話が身近にすすめることができた。
多職種の意見が聞けて楽しかったし学びになった。
皆さんが考えていることをグループワークの時間が長かったので、事例を含めて現状を知ることができた。
情報交換、共有、生の声をきくことができてよかったです。
雰囲気よく情報共有ができた。
情報共有の大切さを確認すること、家族の思いなどもケアマネジャーさんより聞く事ができた。
久しぶりのグループワーク(集合)でみなさんからお話がきけた。とてもよかったです。
医療機関側の退院支援についての意識について確認できました。
それぞれが具体的な例を出して話してくださったので、イメージが付きやすかった。
医療度の高いケースについて連携の必要性が大事である。連携の方法について具体的な知識として参考になりました。
対面研修で意見交換ができた事は良かったと思います。

### 【満足した】

他方面からの支援の関わり、課題を聞く事ができよかったです。
活気ある話合いだった。
いろいろなお話をお聞きすることができた。
グループ討議では一つのテーマを選んだが、他のテーマを選んだグループの討議内容を聞く事で一緒に学ぶことができた。
他職種の方々と意見交換をすることができた。思っている事、考えを知ることができ、今後役立てていきたい。
それぞれの職種の方と近い距離で意見交換、情報交換ができたため。
MSWさんから退院支援に向けての病院側の指針や考えを聞けて良かった。
病院側の対応、関わりを知ることができてよかった。
ケアマネからの意見を聞く事ができて在宅支援について考えられました。

思っていること疑問だったことを口に出す、そして共有することがやはり大事と確認できる場だったこと。
直接、それぞれの立場から情報を得ることができた。
荘内HPの面会が予約不要になった事が知れてよかったです。
参加者の意見を聞く事ができてよかった。
病院の現場の大変さがわかった。「入院前情報」が役に立っているとわかり嬉しかった。
話のできない方と話ができた。
介護と医療の連携ということでコロナ禍などいろいろな制限がある中でいかに連携をはかるかいろんな意見が出て勉強になりました。
他職種の方からの話も聞けた。
顔がみえて話ができただこと。
久しぶりの対面で他職種との連携ができた事。菅原先生の課題もよかった。
多職種の方からの目線でいろいろなお話が聞けて感じていることが理解できた。
医療機関側の意見。具体的な方法を知ることができて良かった。
久々の対面の研修、Zoomとは違い意見の交換を活発にできたと思います。
課題のどれも経験がなかったので実際課題の様々なケースがあると知り今後同じ様なケースがでてきたら役にたちそうだなと思ったので。
医療とケアマネとしての意見を聞くことができた。
グループワークについて長時間行えたこと。

## 1-2. 研修の満足度を選択した際の理由(業種別)

所属	意見
医療関係	他方面からの支援の関わり、課題を聞く事ができよかったです。
	他職種の方々と意見交換をすることができた。思っている事、考えを知ることができ、今後役立てていきたい。
	ケアマネからの意見を聞く事ができて在宅支援について考えられました。
	他施設の方々のお話をうかがうことができ意見交換できたため。
	顔のみえる研修会ができてよかった。
	雰囲気よく情報共有ができた。
	情報共有の大切さを確認すること、家族の思いなどもケアマネジャーさんより聞く事ができた。
	対面研修で意見交換ができた事は良かったと思います。
居宅介護支援事業所	活気ある話し合いだった。
	他事業所のCM、包括支援センター、病院MSW、相談員、Ns等、各々の意見が聞けて良かった。参考にできることがあったためこれからの対応の仕方、プラン等に役立てたと思う。
	普段自分が思っていることやグループで一人一人思っていることを聞くことができました。医療側の意見はとても参考になりました。
	グループ討議では一つのテーマを選んだが、他のテーマを選んだグループの討議内容を聞く事で一緒に学ぶことができた。
	それぞれの職種の方と近い距離で意見交換、情報交換ができたため。
	MSWさんから退院支援に向けての病院側の指針や考えを聞けて良かった。
	病院側の対応、関わりを知ることができてよかった。
	荘内HPの面会が予約不要になった事が知れてよかったです。
	参加者の意見を聞く事ができてよかった。
	今後の医師と介護の連携—在宅にどのように退院につなげていけるか退院調整から家族とケアマネで聞き取りできると調整がスムーズにいくのではと意見がでて参考になった。
	病院の現場の大変さがわかった。「入院前情報」が役に立っているとわかり嬉しかった。
	GWのためより話が身近にすすめることができた。
	話のできない方と話ができた。
	情報交換、共有、生の声をきくことができてよかったです。
	介護と医療の連携ということでコロナ禍などいろいろな制限がある中でいかに連携をはかるかいろんな意見が出て勉強になりました。
	他職種の方からの話も聞いた。
	顔がみえて話ができなこと。
	久しぶりの対面で他職種との連携ができた事。菅原先生の課題もよかった。
	医療機関側の退院支援についての意識について確認できました。
	久々の対面の研修、Zoomとは違い意見の交換を活発にできたと思います。
医療とケアマネとしての意見を聞くことができた。	
それぞれが具体的な例を出して話してくださったので、イメージが付きやすかった。	
医療度の高いケースについて連携の必要性が大事である。連携の方法について具体的な知識として参考になりました。	
グループワークについて長時間行えたこと。	

所属	意見
地域包括支援センター	いろいろなお話をお聞きすることができた。
	入退院支援について、病棟看護師の意見も聞いて何が必要か確認できました。
	思っていること疑問だったことを口に出す、そして共有することがやはり大事と確認できる場だったこと。
	直接、それぞれの立場から情報を得ることができた。
	顔を合せて話げできたことが一番よかった。介護、医療、各々から積極的に意見交換できた。
	皆さんが考えていることをグループワークの時間が長かったので、事例を含めて現状を知ることができた。
	久しぶりのグループワーク(集合)でみなさんからお話がきけた。とても良かったです。
	多職種の方からの目線でいろいろなお話が聞いて感じていることが理解できた。
	医療機関側の意見。具体的な方法を知ることができて良かった。
行政・その他	課題のどれも経験がなかったので実際課題の様々なケースがあると知り今後同じ様なケースができたなら役にたちそうだと思ったので。
	多職種の意見が聞いて楽しかったし学びになった。

## 2. 今回の研修会に参加しての気づき(所属別)

所属	意見
医療関係	情報共有の大切さ、生活のイメージを家族、関係機関と共有しながら在宅へ支援していくことが大切だと気づいた。
	ご本人やご家族の意向に添ってそれぞれの立場でできることを行っていく。
	立場によってとらえ方が変わる事。
	本人がどうしたいのか？にどの職種も考え、より添っている事を再確認することができました。
	病棟看護師として、もっと支援する必要があったと考えさせられた。もっと家族や本人、ケアマネと話す必要があると感じた。
	話し合うことは大切だと思いました。
	HPのNs、CM、コーディネーターの連携を密にとることでFaが在宅ENTへのモチベーションを保つことができる。
	医療者と他職種の意識の差を感じた。
	CMや各病院が考えているところを共有できて良かった。
	ケアマネ側の生のご意見を聞いた。
	患者のADL、できることに対する共通認識の重要性について。
	介護調査、電話などで「できる」の1つをとっても共通認識とはなっていないと伝えたことのギャップが生じてしまう。家族の思いを中心に共通認識とする必要がある。
	直接顔を見ながら話し合うことで電話だけでは伝わらない部分が共有できました。直接会うことの大切さを気づかされました。
	退院支援の過程で地域や在宅への、家への退院の難しさを感じていました。家族も今までの支援関係者も施設希望や地域への退院を拒む傾向が強い現状でしたが本日の研修で在宅での受け入れを前向きな事業所さんが多くて安心しました。
居宅介護支援事業所	お互い聞けないことはないので必要時は遠慮せずに聞く事。
	一番大事なのは本人、家族がどこでどの様な暮らしをしたいのかで先々を見据えることも大事ですが寄り添って多職種で連携して良い方向にしていきたいです。
	HP側は、入院すると早く退院することで廃用予防しようとしていること。入院したらすぐENTの話になることに納得しました。
	「本人」はどうしたいのかを改めて重要と考えた。他CMや医療機関の意見を聞き、自分と同じ考え、知らなかった考えなどもっといろいろな意見、質問、希望を発信しても良いよということ。
	本人、家族の意向を多方面の支援で支えていくために、制度の活用、自らの情報収集や多職種の連携が大ききな力になるという事。
	病院もCMも共に本人・家族のために考えていること。
	HPとケアマネの溝を少なくする為にこまめに連絡を取り合うことの大切さ(すり合わせ)。退院後の生活がイメージしやすいようにできることできないことを明確にしサービスの調整を図っていく。
	入院前情報の大切さ。入院中の家族のモチベーションを保てるような関わりをもつこと。
	HP側からCMに求めること欲しい情報があること(退院に繋ぐ際はキーパーソン以外に関わる人いるか等)。
	HPのNsは本人の意向に添いたいと伺い、納得しました。
	退院時まで準備できること(Faへの退院後のイメージを伝える。サポートできるサービスの調整などを行う)を病院と情報を共有する。
	情報交換会でかきねが減っていくと感じました。また参加したいです。
	退院調整の病院側、ケアマネ側の大変さを共有でき、本人、家族の希望をどう叶えるか情報共有がどれだけ大切かを再確認した。
	連携の大切さ、こまめな連絡。

所属	意見
居宅介護支援事業所	<p>病院の連携室の情報がいただけ良かった。</p> <p>待っているだけでなく自分で足を運び情報を得に行く。わからないこと等は直接きくなど話やすい環境になっていると感じました。</p> <p>自分は病院との間に勝手に敷居の高さを感じていたように思う。もっといろいろな意見や質問をして、病棟との情報共有をもっと密にしていけないと感じた。</p> <p>HP、他のCMとの情報共有のあり方や課題の共通認識ができた。</p> <p>立ち場により違いがあることを前提にしてうめていく。</p> <p>入院前情報提供の記入をたくさんする。</p> <p>医療、介護、家族それぞれの課題のすり合わせの重要性、「できる」理解認識のズレについて。本人の意向と能力、介護力の見立て。</p> <p>病院とケアマネの情報共有が重要で入院前情報の内容(細かい)で病院側が欲しい情報(家族関係、介護力等)知ることが出来た。</p> <p>利用者の思いに添い連携していくこと。</p> <p>本人はそうしたいかを考えそれに向かっていろいろな調整をしていくことが大事だという事を改めて感じた。</p> <p>入院前情報の内容をこまかく記入。退院後にどう生活にしたいかイメージして家族と一緒に考える。</p> <p>利用者の思い、改めて雑記すること、使えるツールは使っていくことが大事だということ。</p>
地域包括支援センター	<p>連携は重要・必要・続けよう</p> <p>いろいろな立場、いろいろな視点があること 入院→退院 見立ての難しさ</p> <p>入院中の家族支援も大事。</p> <p>お互いの考えを出し合って理解することが大切と再認識できた。</p> <p>コロナ禍で面会ができなかった時を経て、コロナ前と同じような支援、それ以上の情報共有と連携ができるようになったと感じました。</p> <p>色々なツールを活用できるようになり、改めて伝える幅が増えてうまく活用していきたいです。</p> <p>HPで病棟と連携室との情報交換が密であったこと。面会等結構できるようになっていたこと。リハ状況も見れる。</p> <p>情報のすり合わせ大事。お互いの立場を理解すること。</p> <p>病院にTELをし、面会に行くことを進めていく。足をはこぶことを以前のようにできるようになっている。</p> <p>医療機関での体制。</p> <p>連絡を密にし情報共有の大切さを再認識しました。</p> <p>溝や垣根あることを認識してそこからスタートとする。情報共有するためにさまざまなツールの活用をする。</p> <p>やはり情報提供・情報共有は大切。</p> <p>コロナ禍での苦労の中それぞれの職種で精いっぱい利用者のため連携してきた。</p> <p>グループワークでの施設に入所したい人は一握り。ほとんどの人が自宅に帰りたいたいと思っているという言葉が印象に残りました。住み慣れた地域で少しでも過ごせるように支援していきたいです。</p>
行政・その他	<p>ケアマネからの視点で在宅につなぐアプローチについて知ることができた。包括、医療連携室など様々な所との連携が大切だと思った。本人の思いを軸に家族の思いも大切にを進めていくことが大切だと再認識した。</p>

### 3. 本日の研修会に参加して取り組んでみようと思ったこと(所属別)

所属	意見
医療機関	まめな情報共有が大切。お互いの立場の理解。
	今日、知った事を職場の人にも伝える。
	医師と患者や家族、ケアマネなどへより詳しく情報提供する、情報共有することをもっと力を入れて行きたい。日々の業務の中で看護師間でも役割を決めて、安心してENTできるよう支援できるようにしたいと思う。
	在宅へ退院するためにこまめに連携がとれればと思います。
	入院前情報と共にケアプランも丁寧にみる事。職種の役割を理解できたため、その上で連絡連携をとりあっていききたい。
	連絡を密にとっていこうと思った。グループで出た意見を参考に仕事をしていきたい。
	患者の希望を病院スタッフ、地域スタッフで支援していきたい。
	家族の不安について病院で知り得たことを共有したい。
	退院前の情報提供は自分と家族、ケアマネジャーさんが同じ認識で話をすすめられるようにしていこうと思う。自分だけではなく病棟スタッフ全体で。
	こまめな情報共有。
家族、ケアマネが少しでも不安が減る様な面会を含めた対応に取り組んでいきたい。	
居宅介護支援事業所	お互い聞けないことはないので必要時遠慮せずに聞く事。
	わからない事、知りたい事、相談したい事は悩まずに相手(他機関)にどんどん聞こう。
	正確な情報を確認し、退院や療養の準備がスムーズに出来るよう努めていきたい。本人の思いに寄り添う支援！！
	病院へ頻回に出向く。
	こまめにHPの担当Nsに入院時の情報を聞き取る。
	大変さが楽になる伝え方をしてみようと思う。
	HPIに入院すると一度支援が途絶えるが入院中も何らかの関わりを(特にFaの退院後のモチベーションを上げる)持つことも必要だと感じました。
	荘内HPのムンテラにケアマネも同席できると伺い必要時同行したいと思います。
	医療機関、特に医師との話できる場を(通院診察やムンテラに同席する)待つ。
	病院との密な連携。
	本人、家族のために必要な情報は聞きに行く、家族の不安や思いを病院に伝える。
	入院時からのHP、Faとの情報共有を退院まで継続。
	連絡の強化を行っていききたい。
	入院前情報は病院側の方達がよりわかりやすく確認できるようにしていきたいと思います。
	入院前情報シートに家族の関係性の記載があると病院側も良い事を知った。
	入院前情報の質を上げようと思う。(関係性、介助方法etc)
	面会を重要として本人の意向を聞き取る。家族の不安を減らしていく。
	自分がみた入院前情報を多すぎる程提供する。
	入退院の支援についてより医療機関側との積極的な連携。
	病院へ遠慮せず連携の必要性をどう取り組む必要があるのか。Telや訪問を重ねる事、行動に移して行こうと思った。
入院前情報への詳細な記載。今まで以上に病院側へ連絡をとるという事。	
医療との連携について今後もっと連携できるようにしていきたいと感じた。	



所属	意見
	<p>その人の立場になって考え行動する。</p> <p>家族の背中を押す提案ができるケアマネになりたいと思う。</p> <p>入院時情報提供に家族内の関係についても記載(特記すべきこと)すること。</p>
地域包括支援センター	<p>参加されなかったケアマネさんに参加を促す。</p> <p>連携室の方と積極的に情報共有していきたい。</p> <p>病棟とこまめな情報共有。</p> <p>自分が思っていることを理解してもらうこと。他者の思いを理解すること。</p> <p>入院前情報の大切さがわかりました。情報の共有を継続していきたいです。</p> <p>本人の意向を大切にしたい。</p> <p>家族への退院に向けての相談支援の工夫。医療機関とのこまめな遠慮しない情報共有。</p> <p>「できる」の共通認識 病院スタッフ、家族、CM すり合わせ 家族の不安を軽減していく。入院前の状況報告書にADLやサービス利用内容に加え家族キーパーソンなど伝えるようにしたい！</p> <p>普段からわからないことは聞く姿勢を大切にする。</p> <p>入院しているご利用者が出たら在宅に向けてのゴール？希望みたいなのをご家族と共有。病院の相談員さんに伝えるなどしたいと思いました。</p> <p>入院前情報で家族の情報を詳しく記入する。Net4U、ちょうかいネットの活用を検討。</p>
行政・その他	<p>保健師として、地域で生活していくための支援という目線をお願いして行きたいと思った。</p>

#### 4. 本研修会にどのような内容を希望するか、運営などでお気づきのこと

所属	意見
医療関係	今回のような形がいいと思います。いろいろな話が聞けてためになりました。
	PT、OT、ST、栄養士、薬剤師も参加してもらい工夫していることを聞く会はどうぞでしょう。
	グループワークの時間が長く感じた。
	身寄りのない方への支援マニュアル作成について。
居宅介護支援事業所	医療側の情報を介護側が聞く機会またその逆もあるといいと思いました。
	時間通りの終了を希望します。
	終了時間は予定時刻でお願いしたいです。
	今回のように退院時のテーマ課題を中心に例を挙げての話し合い(医療職と話できるのはありがたいです)
	参集制限はあると思うがサービス提供事業所の参加もあると良いと思う。
	通所や訪問介護と医療連携。
	大変ごくろう様でした。
	経験の浅い介護支援専門員での情報交換。
	グループワークで話し合うこと。
	準備、進行おつかれさまでした。
	職種の幅を広げた連携研修に参加してみたい。
地域包括支援センター	準備、運営おつかれさまでした。
	勉強になりました。企画おつかれさまでした。
	GWの時間が長く感じました。せっかく山形県立保健医療大の教授からきてもらったのもう少し先生の講話を聞きたいと思いました。時間通り終了してほしいと思います。